

2008年9月30日

報道関係各位

モリタグループ「新コーポレートシンボルマーク」をグローバル展開



株式会社モリタ(本社:東京・大阪、代表取締役社長:中島正博、東証・大証 1 部)は、本年 10 月 1 日の持株会社への移行に伴い、モリタグループ「新コーポレートシンボルマーク」を日本及び海外グループ会社に導入致します。なお、当面はマーケティング分野で活用を行い、製品等でのグローバル展開は 2009 年 4 月以降を予定しています。

1907 年の創業以来、「一人でも多くのいのちを救いたい」という願いのもと、消防車のトップメーカーとして、国内の消防技術発展に貢献すべく技術開発を進め、本年創業 101 周年を迎えることができました。

当社は 10 月 1 日をもって各事業部門を会社分割によって分社化、その事業を新設会社に継承し、当社は持株会社として商号を「(株)モリタホールディングス」に変更。今後、ポンプ事業部門は「(株)モリタ」、防災事業部門は「(株)モリタ防災テック」、環境事業部門は「(株)モリタ環境テック」となります。

今回の「新コーポレートシンボルマーク」は、新しい事業会社、グループ会社の社員一人ひとりの情熱と希望を“翼”のかたちで表現するとともに、未来の大きな夢に羽ばたく姿勢をデザインしたものです。

なお、モリタグループでは、従来から「コーポレートロゴ」(*1)をマーケティング及び製品で活用していますが、この方針は今後も変わることなく、「新コーポレートシンボルマーク」は、グループマークとしてこれに併記していく予定です。

これからも「人と地球のいのちを守る」をスローガンのもと、たゆまぬ努力と新技術の開発に一丸となって取り組むモリタグループにご期待ください。